

**【施策評価調査】**

施策名	3-1-3	緑地保全活動の推進		97	政策「3-1.自然環境の保全と創造」を実現するためには、高根沢町が守るべき自然環境とは何か？、またどのようにして高根沢町の自然環境を創造していくべきか？というビジョンを明確にし、ルール化で明確にしたビジョンを実現できる人材の育成で明確にしたビジョンを確実に運用できる仕組み作り...という3点からのアプローチが必要です。 この施策は、の観点から政策を実現させるために設定しました。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部環境課	担当	環境担当		緑地等の保全の重要性に関する広報活動を充実させるとともに、主に地域固有の田園景観の保持に大きな役割を果たす屋敷林や、生物多様性の維持に大きな役割を果たす東部台地やサギノヤ地区の森林を対象に、土地所有者の協力を得つつ緑地保全契約を締結していきます。さらに土地所有者の協力を得ながら、一定規模以上の緑地保全契約地を身近な自然とのふれあいの場として整備し、活用する手法を検討します。また、水田地帯の水辺環境の適切な保全や復元手法、休耕田の湿地ビオトープ*としての活用などの創造手法を検討します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	金澤公二		
環境変化	緑地保全契約は締結していませんが、元気な森づくり県民税事業による「将来まで守り育てる里山林整備事業」により、宝積寺鷲の谷地区の山林を地権者の協力のもとに不要木の除去、下草刈り、歩道整備を行いました。この事業は将来的に11haを整備する予定です。				

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：緑地保全契約面積(ha)	平成16年度	計画					3ha
		実績	0 ha	0 ha	0 ha	1.9ha	
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	0	0		
	決算	0	0	0		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**施策事後評価 20年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	緑地保全契約は締結していませんが、元気な森づくり県民税事業による「将来まで守り育てる里山林整備事業」により、宝積寺鷲の谷地区の山林を地権者の協力のもとに不要木の除去、下草刈り、遊歩道整備を行いました。この里山を自然ふれあいの活動の場として、エコ・ハウスたかねざわでの環境学習・体験学習等に活用していきます。なお、この整備事業は将来的に11haを整備する予定です。	将来的に11haが整備されますが、環境学習・体験学習を行うには、広すぎる向きがあります。有効かつ効果的に里山が整備、管理されるよう、産業課・エコハウスと協働で検討していきたいと考えています。
総合評価	■ <b>総合評価</b> ■ 産業課と連携した取組みを行ったことを評価する。後期計画策定に向け、全体像をきちんと掴んだ上で、デザインを考え他課が行う関連のある施策、事務事業と繋がりのある横断的な施策展開を検討すること。また、施策指標についても見直すこと。	